

PIプロジェクト実施にあたり

県は、昨年6月に、「沼津駅付近鉄道高架事業推進方針」の中で、PIによる合意形成を定め、今年4月には、専門家(PI委員会)の協力を得て策定した「PI実施計画」を公表しました。現在は、このPI実施計画に基づき、沼津高架PIプロジェクトを進めています。

PIでは、実施計画にも記載のとおり、考え得る案を予断なく検討しますので、何かを前提に議論することはなく、偏りのない考えのもと進めていきます。

改めて、PIプロジェクトにおける県の取り組み姿勢は次のとおりです。

取り組み姿勢 ○考え得る案を予断なく検討します

・「不幸を生まない」互恵的解決を模索していきます。

○市民の皆さんとの対話を通じ、オープンに議論します

・オープンハウス、車座談議、勉強会など様々なコミュニケーション手法を用いて進めます。

○透明で公正に進めます

・第三者の専門家によるPI委員会から監視、助言、評価を受けながら進めます。



PIは、市民の皆さんとコミュニケーションを図りながら、計画の検討を進める取り組みです。皆さんの参加をお待ちしています。

PI委員会の報告(第5回)

傍聴、インターネットによる生中継、資料の公開を行っています。

7月14日に、第5回PI委員会を東部総合庁舎にて開催し、これまでのオープンハウス、車座談議、および事業者ヒアリングの実施状況について報告を行い、委員より意見をいただきました。



委員からの主な指摘事項

- 勉強会は、同じメンバーで継続的に議論していただき、立場の議論、つまり賛成、反対という話ではなく、関心ごと、問題・課題意識を共有するための場にしていただきたい。
- オープンハウスで模型を活用したのは非常に重要。オープンハウスにいらした方々の年齢層があまり偏らず、若い方の意見が入っているのは評価できる。
- これまでの意見の記録をしっかりとっておくことが非常に重要。
- 公共交通、タクシー、運輸関連企業、商業施設事業者へのヒアリングも行うべき。

あなたのご意見を  
お待ちしております。

- ・2、3ページの「ステップ2でお聞きしたいこと」について、ご意見を募集します。
- ・意見様式は自由です。(ホームページや地区センターにある意見様式も利用可)
- ・FAX・メールなどで、下記のPI運営事務局へ送付してください。

なお、寄せられたご意見は、ニュースレターやホームページなどで、紹介していきます。

■ご意見・お問い合わせは 沼津高架PIプロジェクト・PI運営事務局まで■

沼津高架 PI

- 郵送 〒410-0055 静岡県沼津市高島本町1番3号 静岡県沼津土木事務所 都市計画課内 PI運営事務局
- FAX 055-926-5527
- メール numazu-pi@pref.shizuoka.lg.jp

URL : <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/kouka/index.html>  
TEL : 055-920-2222

沼津高架PI

QRコード

情報を掲載しています。

編集後記：偏りのない情報発信に努めるため、第三者のまちづくり専門家などに編集支援を受けています。ニュースレターについても、ご意見をお寄せ下さい。

発行：沼津高架PIプロジェクト・PI運営事務局

沼津高架 Public Involvement Project  
PIプロジェクト

パブリックインボルブメント(PI)は、市民や関係者の皆さんとコミュニケーションを図りながら計画の検討を進める取り組みです。

～沼津高架について考える上で～

地域の将来像をどう考えますか？

沼津高架PIプロジェクトでは、沼津駅付近鉄道高架事業について、皆さんのコミュニケーションを進めています。

鉄道高架について考えるために、まずは、沼津駅周辺や貨物駅予定地の原地区で、どのような地域を目指すのかを明らかにし、その上で、将来像の実現策を予断なく検討することとしています。

現在、「どのような地域を目指すのか」について、様々な機会を設け、広く皆さんのご意見をお聴きしています。

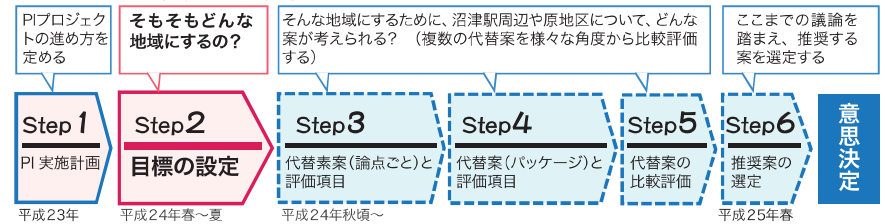
ぜひ、あなたのご意見もお聞かせください！

詳しくは  
2～3ページ  
を見てね！



ただいま、  
ステップ2が進行中！

PIプロジェクトでは、6つのステップをひとつひとつ確認しながら進めています。全ステップを通じて、市民や関係者の皆さんからご意見をお聴きしていきます。

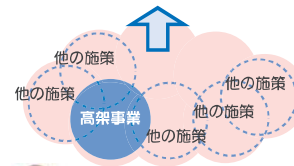


ステップ2(目標の設定)で考えたいこと

ステップ2では、沼津駅周辺や原地区の現在の状況や、将来像を検討し、それぞれがどのような地域づくりを目指していくのかという「目標」を明確にします。

なお、ステップ3以降では、ステップ2であらかじめした「目標」を達成するために、どのような方法があるのか、複数の代替案を、予断なく検討していきます。

地域の将来像



これを進めるために皆さんにお聞きしたいこと・・・ 2～3ページへ！

ステップ2(目標の設定)で県が確認すること

- 県東部地域を取り巻く状況  
沼津駅周辺、原地区、および県東部地域における社会動向や都市の整備状況などを整理します。
- 地域の将来像  
県東部地域を取り巻く状況を踏まえて、沼津駅周辺、および原地区の目指すべき地域像を整理します。
- 将来避けるべき状況  
県東部地域を取り巻く状況を踏まえて、沼津駅周辺、および原地区において、将来、避けるべき状況を整理します。

## ステップ2で皆さんにお聴きしたいこと

沼津高架について考えるために、まずどのような地域を目指すのか、地域の将来像を考えてみてください。

### 沼津駅周辺について

#### Q1. 今の沼津駅周辺の地域について心配なことは？

沼津駅周辺の課題として、「商店街の活性化」、「まちなかの魅力不足」、「地震や津波などの災害が心配」といった意見がありました。あなたは、今の沼津駅周辺の地域について、どのようなことが心配ですか？

#### Q2. 沼津駅周辺の地域づくりで取り組むべきことは？

新東名高速道路の整備によって首都圏からのアクセスがよくなったことから、「今後の地域づくりの可能性として、沼津の持っている観光資源を生かすべき」といった意見がありました。あなたは、周辺環境の変化を踏まえて、今後、「沼津駅周辺の地域づくり」について、どのようなことに取り組むのがよいと思いますか？



#### Q3. 将来、避けるべき状況は？

あなたは、今後の「沼津駅周辺の地域づくり」の取り組みに際し、避けるべき状況とは、どのようなことだと思いますか？

#### Q4. 沼津駅周辺に必要な機能・施設は？

沼津駅周辺は、「観光や医療などをテーマとした都市拠点として整備すべきである」、「徒歩や自転車で行き来しやすく、魅力的な商業地や公園・水辺などの憩いの場があるとよい」といった意見がありました。

あなたは、都市拠点として沼津駅周辺を考えたとき、どのような機能や施設があるとよいと思いますか？

### 原地区について



#### Q1. 今の原地区の地域について心配なことは？

原地区は、「水害や地震・津波の被害が懸念される」、「農業の後継者不足や、産業・雇用が少なく」といった意見がありました。あなたは、今の原地区の地域について、どのようなことが心配ですか？

#### Q2. 原地区の地域づくりで取り組むべきことは？

原地区では、新東名高速道路の開通に続き、骨格的な道路整備（東駿河湾環状道路の西部区間延伸、スマートインター設置など）が検討されており、「周辺状況が大きく変化するのではないか」、「原地区でも活性化のためにこれらを活用してはどうか」といった意見がありました。

あなたは、周辺環境の変化を踏まえて、今後、「原地区の地域づくり」について、どのようなことに取り組むのがよいと思いますか？

#### Q3. 将来、避けるべき状況は？

あなたは、今後の「原地区の地域づくり」の取り組みに際し、避けるべき状況とは、どのようなことだと思いますか？

#### Q4. 原地区の守りたい地域資源は？

「原に残る歴史的な資源や、昔からの風景を一度壊してしまったら取り返せないし、現状では活かされていない」といった意見がありました。あなたは、原地区において、残すべき資源、守りたい資源として、どのようなものがあると思いますか？

#### Q5. 原地区をどのような地域にしたい？

これまで、原地区では、「地域づくりの総合的なビジョンを話し合う機会が十分でなかった」といった意見がありました。原地区の歴史、風景、文化を活用した地域づくりを望む意見は、多くの人に共通しています。

今後の地域の将来像として、「交通の要衝としてのメリットを生かし、医療や健康などの新たな産業のあるまちにしたい」、「現在ある農地や自然を保全していきたい」といった意見がありました。あなたは、原地区をどのような地域にしたいと思いますか？

## 皆さんの意見をお聴きする様々な機会を設けています！

沼津高架 PI プロジェクトでは、様々な立場の方にとって、相互に価値のある解決策を模索することを目指しています。

このことを、皆さんとじっくり考えながら進めるため、下記のような、様々なコミュニケーションの機会を設け、多層多様なコミュニケーションを図り、地域のニーズ等を把握しています。

このようなコミュニケーションの機会を多くに利用して、上記の問いかけについて、あなたのご意見をお聴かせください。

#### オープンハウス

皆さんの集まる場所でパネル展示を行い、ご意見をお聴きしています。

#### ニュースレター

PI プロジェクトの途中経過をお知らせしたり、皆さんの意見紹介や意見募集をしています。

#### 車座談話

自治会や団体の皆さんとの意見交換を行っており、随時、開催受付を行っています。

#### 勉強会

同じメンバーで、継続的に各ステップの議論を進めます。現在、開催に向けて準備中です！

#### PI 委員会の設置と公開

有識者からなる PI 委員会を設置し、運営に関する監視・助言・評価を行ってまいります。

#### 運営事務局スタッフを配置

市民や関係者の皆さんとコミュニケーションを図る PI 運営事務局を設置し、備わらない運営に努めています。

## オープンハウス開催します！

日時：8月24日(金)～26日  
午前10時～午後8時  
(26日は午後7時終了)

会場：イシバシプラザ1階  
セントラルコート

オープンハウス

お気軽にご来場ください。  
スタッフ一同お待ちしております。



オープンハウス来場者の皆さんからお聴きしたご意見の一部をご紹介します。

この他にも、たくさんのご意見をいただきましたので、とりまとめの上、ホームページなどでお知らせしていきます。

## これまでに、たくさんのご意見をお聴きしました！

### ■地域資源を大切に

- ・富士山と愛鷹山の織りなす景観が、素晴らしい！
- ・納園と呼ばれたほどの農作物が自慢。海の幸などの食材も豊富！
- ・東部地域の拠点都市であり、行政や民間大手の支店が集積している。

### ■地域のまちづくりについても考えて

- ・南北交通が不便ですね。道路やガードが狭くて怖いため自転車に乗れない…。
- ・まちに賑わいが無い、子どもや若者が行く店がない、商店街に魅力がない。
- ・公園のような子どもが遊べる場所や、緑がもっとあったらいいな。
- ・津波が心配。地盤が悪く、想定津波浸水域が広いので、防災対策を！

### ■将来はこんなまちに

- ・東部地域の拠点都市という広域の視点を持つ。
- ・産業、雇用、人口を増やすまちづくりを！
- ・まちなかに緑地や子どもが安心して遊べる場所を整備してほしい。
- ・原地区について、「健康文化タウン基本構想」を提案します。
- ・原地区には道路整備が必要でしょう。病院や美術館、雇用の見込める施設もあってほしいです。
- ・海、海岸線、港、千本浜、山、新東名 SA、国道1号沿いの桜など、既存の資源を活用しよう！

### ■これだけは困る

- ・西武が撤退して、まちの今後が心配だ。
- ・高架化により景観が悪くならないか心配です。
- ・市の財政が心配だ。市はどのように歳入を増やしていくのかビジョンを持つべき！